

8 インドネシア

ジャワ・バリ送電線・変電所整備事業(東部ジャワ)(I)(II)



本事業により設置された変圧器

[借 款 概 要]

承諾額/実行額	14,533百万円 / 6,459百万円
借 款 契 約 調 印	1991年9月 / 1992年10月
借 款 契 約 条 件	金利2.6%、返済30年(据置10年)
貸付完了	1997年10月 / 2001年2月

[事 業 概 要]

(第1期)既に電化された地域の電力需要の増加に対応し、新規の需要家への電力供給、送電系統の信頼度の強化を図るもの。

(第2期)東部ジャワ地域におけるグレシック及びパイTONの両大型発電所の建設にあわせ、2次系統以降の電力流通設備を拡充・増強し、東部ジャワ地域の電力安定供給及び供給信頼度の向上を図るもの。

[評 価 結 果]

本事業により、既設変電所・中圧変圧器の機能拡充、変電所・送電線の新設が実施された。本事業の変電容量増加分(1,470MVA)は、東部ジャワ地域における変圧器整備容量の約16%、稼動している変圧器台数の約21%を占めている。本事業により変圧器の容量が増強され、過負荷運用が緩和されたことなどから、東部ジャワ地域の停電回数・時間は、過去10年間で大幅な改善が見られる。よって本事業は、同地域の電力需要の増加と供給信頼度の向上に貢献したと言える。

実施機関である国营電力公社(PLN)は近年、組織再編成等の経営効率化を図っているが、本事業の持続性に特段の問題は見受けられない。